

平成27年3月期 第3四半期決算短信〔日本基準〕(連結)

平成27年2月5日

上場取引所 東

上場会社名 日邦産業株式会社

コード番号 9913 URL <http://www.nip.co.jp/>

代表者 (役職名) 代表取締役 社長

(氏名) 大塚 真治

問合せ先責任者 (役職名) 執行役員 CSR統括部長

(氏名) 三上 仙智

四半期報告書提出予定日 平成27年2月10日

TEL 0587-98-1227

配当支払開始予定日 —

四半期決算補足説明資料作成の有無 : 無

四半期決算説明会開催の有無 : 無

(百万円未満切捨て)

1. 平成27年3月期第3四半期の連結業績(平成26年4月1日～平成26年12月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は、対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
27年3月期第3四半期	31,522	△3.5	△127	—	△19	—	△203	—
26年3月期第3四半期	32,656	1.6	263	△69.9	581	△32.8	334	△13.9

(注) 包括利益 27年3月期第3四半期 325百万円 (△67.9%) 26年3月期第3四半期 1,012百万円 (105.6%)

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
27年3月期第3四半期	△22.43	—
26年3月期第3四半期	37.59	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率
	百万円	百万円	%
27年3月期第3四半期	28,863	10,821	36.4
26年3月期	27,303	10,283	37.4

(参考) 自己資本 27年3月期第3四半期 10,499百万円 26年3月期 10,219百万円

2. 配当の状況

	年間配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
26年3月期	—	0.00	—	15.00	15.00
27年3月期	—	0.00	—	—	—
27年3月期(予想)	—	—	—	15.00	15.00

(注) 直近に公表されている配当予想からの修正の有無 : 無

3. 平成27年3月期の連結業績予想(平成26年4月1日～平成27年3月31日)

(%表示は、対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	42,000	△2.1	△130	—	△100	—	△290	—	△31.95

(注) 直近に公表されている業績予想からの修正の有無 : 無

※ 注記事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) : 有

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)
新規 1社(社名)FNA MECHATRONICS MEXICO S.A. de C.V.

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 : 無

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

- ① 会計基準等の改正に伴う会計方針の変更 : 無
- ② ①以外の会計方針の変更 : 無
- ③ 会計上の見積りの変更 : 無
- ④ 修正再表示 : 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

- ① 期末発行済株式数(自己株式を含む)
- ② 期末自己株式数
- ③ 期中平均株式数(四半期累計)

27年3月期3Q	9,127,338 株	26年3月期	9,127,338 株
27年3月期3Q	18,793 株	26年3月期	240,353 株
27年3月期3Q	9,064,289 株	26年3月期3Q	8,887,046 株

※四半期レビュー手続の実施状況に関する表示

・この四半期決算短信は、金融商品取引法に基づく四半期レビュー手続の対象外であり、この四半期決算短信の開示時点において、四半期連結財務諸表に対する四半期レビュー手続は終了していません。

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

・本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報及び合理的であると判断する一定の前提に基づいており、その達成を当社として約束する趣旨のものではありません。また、実際の業績等は様々な要因により大きく異なる可能性があります。業績予想の前提となる条件及び業績予想のご利用にあたっての注意事項等については、添付資料P3「連結業績予想などの将来予測情報に関する説明」をご覧ください。

○添付資料の目次

1. 当四半期決算に関する定性的情報	2
(1) 経営成績に関する説明	2
(2) 財政状態に関する説明	3
(3) 連結業績予想などの将来予測情報に関する説明	3
2. サマリー情報(注記事項)に関する事項	4
(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動	4
(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用	4
(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示	4
3. 四半期連結財務諸表	5
(1) 四半期連結貸借対照表	5
(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書	7
(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項	9
(継続企業の前提に関する注記)	9
(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)	9
(セグメント情報等)	10
(重要な後発事象)	11

1. 当四半期決算に関する定性的情報

(1) 経営成績に関する説明

当第3四半期連結累計期間の日本経済を取り巻く環境は、円安トレンドが輸出型企業にプラス影響を与えた一方、輸入原材料、電気料金の値上がりなどのマイナス影響も与え、総じて4月に実施された消費税率の引き上げに伴う駆け込み需要の反動が依然として残る弱含みの経済状況下で推移しました。また、海外経済を取り巻く環境も、米国及び欧州、並びに中国を含む新興国経済の成長も力強さに欠ける中で推移しました。

このような環境のもと、当社グループは日本、アセアン及び北中米地域において、中長期視点に立った事業収益の基盤づくりを進めておりますが、足元の事業収益については、タイにおける政情不安、エコカー減税終了の影響、さらには精密機器セグメントの主要顧客の生産委託計画の変更による影響を大きく受ける形で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は31,522百万円（前年同期比3.5%減）、営業損失は127百万円（前年同期は263百万円の営業利益）、経常損失は19百万円（前年同期は581百万円の経常利益）、四半期純損失は203百万円（前年同期は334百万円の四半期純利益）となりました。

セグメントの業績を示すと、次のとおりであります。

・モビリティ

自動車メーカー及び自動車部品メーカーに対して、電子制御関連部品を核とした樹脂成形品及び同組立品を国内外で製造・販売しております。

当該事業の業績は、当該事業を牽引してきたタイ事業が同国の政情不安とエコカー減税終了の影響により減速し、また来期から本格的な量産体制に入るインドネシア事業の先行投資費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は8,311百万円（前年同期比11.2%減）、全社費用配賦前のセグメント利益157百万円（前年同期比67.8%減）、配賦後のセグメント利益は26百万円（前年同期比92.1%減）となりました。

・エレクトロニクス

電子部品及びクリーンエネルギー関連のメーカーに対して、専門商社として高機能材料、部品、治具及び機器等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、スマートフォン、タブレット型端末及び燃料電池用部材の引き合いに支えられ、国内業績は堅調に推移しましたが、海外業績は主要顧客の事業撤退による影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は14,337百万円（前年同期比2.4%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は274百万円（前年同期比35.5%減）、配賦後のセグメント損失は69百万円（前年同期は57百万円のセグメント損失）となりました。

・精密機器

オフィスオートメーション、デジタルイメージング、医療機器等の関連メーカーに対して、樹脂成形品の製造及び販売を国内外で展開しております。

当該事業の業績は、中華圏とアセアン地域ともに主要顧客の生産委託計画の変更による影響を大きく受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は4,830百万円（前年同期比18.9%減）、全社費用配賦前のセグメント損失は69百万円（前年同期は154百万円のセグメント利益）、配賦後のセグメント損失は104百万円（前年同期は117百万円のセグメント利益）となりました。

・住宅設備

住宅設備の関連メーカーに対して、専門商社として、またファブレスメーカーとして、樹脂成形品、ブラインド・介護用ベッドのコントロールユニット、高機能材料並びに機器等を国内外で販売しています。

当該事業の業績は、国内外で堅調に推移してきた高効率給湯器向けの樹脂成形品・配管部品、建築材料並びに、燃料電池の関連部材の引き合いが鈍化し、また自社企画商品の開発費及びタイにおける市場開拓費用の影響を受ける中で推移しました。

この結果、当第3四半期連結累計期間における当セグメントの売上高は2,444百万円（前年同期比9.1%減）、全社費用配賦前のセグメント利益は75百万円（前年同期比51.5%減）、配賦後のセグメント損失は41百万円（前年同期は20百万円のセグメント損失）となりました。

・その他

報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

当第3四半期連結累計期間におけるその他の売上高は1,885百万円（前年同期比13.0%増）、全社費用配賦前のセグメント利益は163百万円（前年同期は12百万円のセグメント利益）、配賦後のセグメント利益は102百万円（前年同期は71百万円のセグメント損失）となりました。

（2）財政状態に関する説明

①資産、負債及び純資産の状況

（流動資産）

流動資産は、前連結会計年度末に比べて617百万円増加し15,682百万円となりました。これは受取手形及び売掛金が173百万円、電子記録債権が103百万円減少したものの、現金及び預金が489百万円、棚卸資産が290百万円増加したことなどが主な要因となっております。

（固定資産）

固定資産は、前連結会計年度末に比べて942百万円増加し13,181百万円となりました。これは、有形固定資産合計が532百万円、投資その他の資産合計が416百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、総資産は前連結会計年度末に比べて1,560百万円増加し28,863百万円となりました。

（流動負債）

流動負債は、前連結会計年度末に比べて668百万円減少し12,829百万円となりました。これは支払手形及び買掛金が816百万円増加したものの、短期借入金が1,420百万円減少したことなどが主な要因となっております。

（固定負債）

固定負債は、前連結会計年度末に比べて1,690百万円増加し5,213百万円となりました。これは長期借入金が1,481百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、負債合計は前連結会計年度末に比べて1,021百万円増加し18,042百万円となりました。

（純資産）

純資産合計は、前連結会計年度末に比べて538百万円増加し10,821百万円となりました。これは利益剰余金が336百万円減少したものの、自己株式を143百万円処分し、為替換算調整勘定が287百万円、その他有価証券評価差額金が229百万円、少数株主持分が258百万円増加したことなどが主な要因となっております。

この結果、自己資本比率は前連結会計年度末より1.0ポイント減少の36.4%となりました。

（3）連結業績予想などの将来予測情報に関する説明

米国経済、欧州経済及び中東情勢が為替相場に与える影響が読み切れないため、当第3四半期決算短信提出日においては、平成26年11月5日公表の「平成27年3月期の通期業績予想」を維持いたします。

2. サマリー情報(注記事項)に関する事項

(1) 当四半期連結累計期間における重要な子会社の異動

(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

当第3四半期連結会計期間において、FNA MECHATRONICS MEXICO S. A. de C.V. は重要性が増したため、新たに連結の範囲に含めております。

(2) 四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

該当事項はありません。

(3) 会計方針の変更・会計上の見積りの変更・修正再表示

該当事項はありません。

3. 四半期連結財務諸表

(1) 四半期連結貸借対照表

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,299,305	5,788,500
受取手形及び売掛金	6,878,985	6,705,118
電子記録債権	292,810	189,700
商品及び製品	1,465,631	1,595,552
仕掛品	353,140	397,511
原材料及び貯蔵品	344,135	460,526
繰延税金資産	23,823	22,715
未収入金	219,460	270,136
その他	206,589	269,003
貸倒引当金	△19,526	△16,460
流動資産合計	15,064,356	15,682,304
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物	7,570,060	8,903,365
減価償却累計額	△2,956,502	△3,423,631
建物及び構築物(純額)	4,613,557	5,479,733
機械装置及び運搬具	6,542,349	6,909,655
減価償却累計額	△4,450,655	△4,552,365
機械装置及び運搬具(純額)	2,091,693	2,357,290
工具、器具及び備品	774,746	829,391
減価償却累計額	△514,064	△562,868
工具、器具及び備品(純額)	260,682	266,523
土地	1,407,228	1,459,832
建設仮勘定	978,526	320,534
有形固定資産合計	9,351,688	9,883,914
無形固定資産	148,978	142,551
投資その他の資産		
投資有価証券	1,706,382	2,065,230
繰延税金資産	5,455	11,553
その他	1,074,891	1,126,829
貸倒引当金	△48,156	△48,775
投資その他の資産合計	2,738,572	3,154,837
固定資産合計	12,239,239	13,181,303
資産合計	27,303,595	28,863,607

(単位：千円)

	前連結会計年度 (平成26年3月31日)	当第3四半期連結会計期間 (平成26年12月31日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	8,323,075	9,139,492
短期借入金	3,264,000	1,843,600
1年内返済予定の長期借入金	499,520	437,581
1年内償還予定の社債	30,000	15,000
リース債務	177,091	141,990
未払法人税等	96,336	33,077
賞与引当金	218,042	231,691
その他	889,861	986,769
流動負債合計	13,497,927	12,829,202
固定負債		
長期借入金	1,790,969	3,272,434
リース債務	276,316	316,555
繰延税金負債	399,013	583,678
再評価に係る繰延税金負債	2,913	2,913
環境対策引当金	10,372	10,372
退職給付に係る負債	724,139	747,727
資産除去債務	49,459	50,489
負ののれん	1,615	—
その他	267,776	228,835
固定負債合計	3,522,576	5,213,008
負債合計	17,020,503	18,042,210
純資産の部		
株主資本		
資本金	3,137,754	3,137,754
資本剰余金	2,343,068	2,299,765
利益剰余金	4,751,106	4,414,516
自己株式	△155,347	△12,114
株主資本合計	10,076,581	9,839,920
その他の包括利益累計額		
その他有価証券評価差額金	156,126	385,509
土地再評価差額金	5,273	5,273
為替換算調整勘定	△18,731	268,638
その他の包括利益累計額合計	142,669	659,420
少数株主持分	63,841	322,055
純資産合計	10,283,091	10,821,397
負債純資産合計	27,303,595	28,863,607

(2) 四半期連結損益計算書及び四半期連結包括利益計算書

四半期連結損益計算書

第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
売上高	32,656,692	31,522,920
売上原価	28,893,467	28,263,440
売上総利益	3,763,224	3,259,479
販売費及び一般管理費	3,499,512	3,386,493
営業利益又は営業損失(△)	263,712	△127,013
営業外収益		
受取利息	11,903	26,652
受取配当金	9,109	11,406
仕入割引	8,482	—
持分法による投資利益	73,761	—
スクラップ売却益	30,151	25,846
為替差益	269,753	149,114
その他	45,513	32,406
営業外収益合計	448,677	245,427
営業外費用		
支払利息	111,782	99,956
その他	19,207	37,549
営業外費用合計	130,989	137,505
経常利益又は経常損失(△)	581,400	△19,091
特別利益		
固定資産売却益	28,023	8,433
その他	—	30
特別利益合計	28,023	8,464
特別損失		
固定資産処分損	7,760	3,260
減損損失	7,045	—
特別退職金	—	18,163
特別損失合計	14,805	21,423
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前 四半期純損失(△)	594,617	△32,051
法人税、住民税及び事業税	163,706	120,827
法人税等調整額	96,723	45,469
法人税等合計	260,430	166,297
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	334,187	△198,348
少数株主利益	147	4,936
四半期純利益又は四半期純損失(△)	334,040	△203,285

四半期連結包括利益計算書
第3四半期連結累計期間

(単位：千円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成25年4月1日 至平成25年12月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成26年4月1日 至平成26年12月31日)
少数株主損益調整前四半期純利益又は少数株 主損益調整前四半期純損失(△)	334,187	△198,348
その他の包括利益		
その他有価証券評価差額金	119,158	229,382
為替換算調整勘定	447,621	294,103
持分法適用会社に対する持分相当額	111,090	—
その他の包括利益合計	677,870	523,485
四半期包括利益	1,012,058	325,136
(内訳)		
親会社株主に係る四半期包括利益	1,011,846	313,466
少数株主に係る四半期包括利益	211	11,670

(3) 四半期連結財務諸表に関する注記事項

(継続企業の前提に関する注記)

該当事項はありません。

(株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記)

当社は、平成26年5月15日開催の取締役会決議に基づき、第三者割当による自己株式の処分を行い、平成26年5月30日を払込期日として普通株式221,700株を処分しました。この結果、当第3四半期累計期間において、資本剰余金が43,302千円、自己株式が143,232千円減少し、当第3四半期連結会計期間末において資本剰余金は2,299,765千円、自己株式は12,114千円となっております。

(セグメント情報等)

I 前第3四半期連結累計期間(自平成25年4月1日至平成25年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	9,065,112	13,997,524	5,280,586	2,689,974	31,033,197	1,623,494	32,656,692	—	32,656,692
セグメント間の内部 売上高又は振替高	297,157	—	678,187	—	975,344	44,255	1,019,600	△1,019,600	—
計	9,362,269	13,997,524	5,958,774	2,689,974	32,008,542	1,667,750	33,676,293	△1,019,600	32,656,692
セグメント利益 又は損失(△)	340,529	△57,254	117,422	△20,210	380,486	△71,457	309,029	△45,316	263,712

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業利益と調整を行っております。

4. 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は927,470千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は 損失(△)	488,924	425,029	154,521	156,009	12,014	1,236,500
全社費用	148,395	482,284	37,098	176,219	83,472	927,470
セグメント利益 又は損失(△)	340,529	△57,254	117,422	△20,210	△71,457	309,029

Ⅱ 当第3四半期連結累計期間(自平成26年4月1日至平成26年12月31日)

報告セグメントごとの売上高及び利益または損失の金額に関する情報

(単位：千円)

	報告セグメント					その他 (注1)	合計	調整額 (注2)	四半期連結 損益計算書 計上額 (注3)
	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	計				
売上高									
外部顧客への売上高	8,296,560	14,337,672	4,709,235	2,444,956	29,788,424	1,734,495	31,522,920	—	31,522,920
セグメント間の内部 売上高又は振替高	15,035	—	121,611	—	136,647	150,721	287,369	△287,369	—
計	8,311,596	14,337,672	4,830,846	2,444,956	29,925,072	1,885,217	31,810,289	△287,369	31,522,920
セグメント利益 又は損失(△)	26,836	△69,876	△104,317	△41,324	△188,681	102,017	△86,664	△40,348	△127,013

(注) 1. 「その他」の区分は、報告セグメントに含まれない事業セグメントであり、RFID等を含んでおります。

2. セグメント利益又は損失の調整額は、棚卸資産の調整額等であります。

3. セグメント利益又は損失は、四半期連結損益計算書の営業損失と調整を行っております。

4. 当社はセグメント利益又は損失を算定するにあたり、事業セグメントに直接配賦できない販売費及び一般管理費をその発生により便益を受ける程度に応じ、合理的な基準によって関連する報告セグメントに配賦しております。配賦した販売費及び一般管理費の合計は688,123千円であり、各報告セグメントへの配賦金額は以下のとおりであります。

(単位：千円)

	モビリティ	エレクトロ ニクス	精密機器	住宅設備	その他	合計
全社費用配賦前の セグメント利益又は 損失(△)	157,579	274,185	△69,911	75,656	163,948	601,458
全社費用	130,743	344,061	34,406	116,980	61,931	688,123
セグメント利益 又は損失(△)	26,836	△69,876	△104,317	△41,324	102,017	△86,664

Ⅲ 報告セグメントの変更等に関する事項

該当事項はありません。

(重要な後発事象)

該当事項はありません。